

預金(基金)と借金(市債)の状況 (普通会計)

市民1人
当たり
預金

約9万円
(平成22年度末の
人口を基に計算)

●預金残高(基金22年度末残高)
95億8,669万円

基金とは、特定の事業に充てるためや財源不足を補うために積み立てるもの

主な基金	年度末残高
地域づくり基金	34億2,174万円
財政調整基金	24億6,424万円
都市基盤整備事業基金	11億8,125万円
土地開発基金	7億5,315万円
減債基金	3億9,389万円
地域福祉基金	3億8,143万円
地域振興基金	3億 851万円
エコプラザ整備基金	2億 269万円
人づくり基金	1億9,735万円

市民1人
当たり
借金

約52万円
(平成22年度末の
人口を基に計算)

●借金残高(市債22年度末残高)
557億2,703万円

市債とは、一時的なものを除いた借入金のこと。
5年から30年くらいの期間で返済していく

主な市債	年度末残高
臨時財政対策債	141億7,241万円
合併特例事業債	101億3,975万円
地方道路等整備事業債	86億5,102万円
学校教育施設等整備事業債	40億2,402万円
過疎対策事業債	28億9,340万円
上水道事業出資債	23億8,089万円
減税補てん債	19億2,045万円



ごんごバスの運行



南小学校の改築

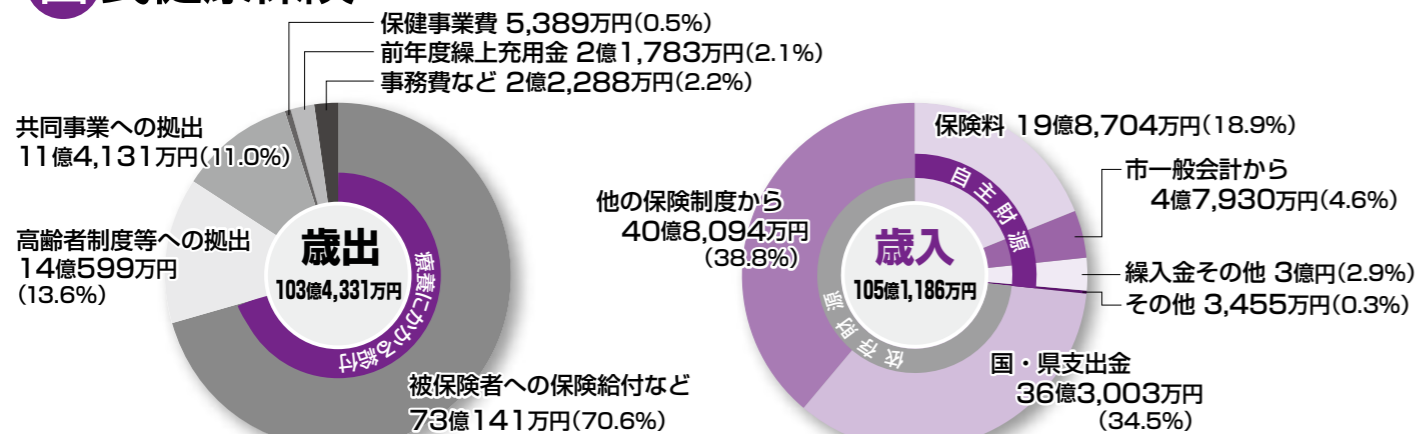
特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために特定の収入(使用料や保険料など)をその支出に充てるため、経理を独立して設ける会計。

市には12の特別会計があります。そのうち、国民健康保険特別会計について、詳しくお知らせします。

平成22年度特別会計別決算額	会計名	歳入	歳出
	国民健康保険	105億1,186万円	103億4,331万円
	介護保険	79億4,075万円	78億3,680万円
	下水道事業	52億4,991万円	52億4,028万円
	後期高齢者医療	10億9,059万円	10億8,934万円
	農業集落排水事業	2億2,555万円	2億2,451万円
	簡易水道事業	2億 277万円	2億 277万円
	食肉処理センター	1億1,445万円	1億1,445万円
	老人保健	615万円	615万円
	全本明正奨学金	1,002万円	70万円
	土地取得造成事業	3,538万円	0万円
	磯野計記念奨学金	378万円	0万円
	公共用地取得事業	0万円	0万円

国民健康保険



国民健康保険は病気やけがに備えて、加入者の皆さんが保険料を出し合い、支え合う制度です。平成22年度決算は、単年度では1億6,855万円の黒字になっていますが、前年度の赤字補填や翌年度清算の補助金返還予定額などを加味すると、実質的には約2,900万円の赤字となりました。また、歳出の約7割を占める医療費は年々増加しています。安心して医療が受けられるようにするためにも、保険料の納付をお願いします。

問い合わせ先 保険年金課 32-2071

生活・教育支援	決算額
子ども手当(国の政策に伴う新規事業)	18億5,704万円
生活保護費	15億6,410万円
小中学校改築・耐震補強等事業(南小学校、東小学校ほか)	7億6,676万円
子ども医療費(旧乳幼児医療費を含む)	2億5,417万円
小中学校スクールヘルパー配置事業	4,040万円
不妊治療費助成	368万円
地域公共交通	
地方バス路線運行維持費補助金	6,527万円
支所間バス運行補助金	2,690万円
ごんごバス運行補助金	1,293万円
市営阿波バス運行业務委託料	724万円
共同バス運行委託料(津山・西川線、津山・柵原線、津山・富線)	712万円
ごみ	
焼却灰搬出処理委託事業	1億2,972万円
資源化センター運営業務委託料	9,167万円
ごみ減量・リサイクル推進事業	4,217万円
家庭ごみ指定袋制実施事業	3,831万円
産業活性化	
地域材利用新築住宅助成補助金	1,980万円
つやま新産業創出機構補助金	1,907万円
住宅用太陽光発電システム設置補助金	1,452万円
パワーアップ商業振興事業補助金	1,268万円
食料産業活性化支援事業委託料	277万円
ものづくり人材育成事業委託料	115万円
雇用対策	
緊急雇用創出事業	1億1,903万円
ふるさと雇用再生特別交付事業	6,336万円
歴史・芸術文化	
史跡美作国分寺跡公有化事業	6,051万円
津山城跡整備事業	1,384万円
国民文化祭推進事業	1,480万円



国民文化祭の開催



焼却灰の搬出

平成22年度の主な事業